

みどり 水土里ネット富山だより

(富山の土地改良情報)

2023
第583号

1月1日発行



謹賀新年



農地防災減災事業(ため池)平岡地区:富山市

- | | | |
|----------|--------|---------------------------|
| 会長 | 堂故 茂 | (参議院議員) |
| 副会長 | 中川 忠昭 | (常西川水土地改良区理事長
富山県議会議長) |
| 専務理事 | 永森 雅之 | (学識経験者) |
| 理事 | 鹿熊 正一 | (朝日町水土地改良区理事長
富山県議会議員) |
| 理事 | 上田 英俊 | (入善水土地改良区理事長
衆議院議員) |
| 理事 | 夏野 元志 | (射水平野水土地改良区理事長
射水市長) |
| 理事 | 亀山 彰 | (常東川水土地改良区理事長
富山県議会議員) |
| 理事 | 紫藤 健一 | (庄西川水土地改良区理事長) |
| 理事 | 定司 俊憲 | (南礪水土地改良区理事長) |
| 理事 | 館 勇将 | (高岡水土地改良区理事長) |
| 代表監事 | 道小島 茂生 | (魚津水土地改良区理事長) |
| 監事 | 津田 修 | (砺波郡藤ヶ池水土地改良区理事長) |
| 監事 | 吉田 孝夫 | (礪波水土地改良区理事長) |
| (他 職員二回) | | |



水土里ネット富山

(富山県土地改良事業団体連合会)



CONTENTS

1	新年のご挨拶	
	富山県土地改良事業団体連合会長	堂故 茂…………… 1
	全国水土里ネット会長	二階 俊博…………… 2
	全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進藤 金日子…………… 3
	全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮崎 雅夫…………… 4
	富山県知事	新田 八朗…………… 5
	富山県議会議長	渡辺 守人…………… 6
	北陸農政局長	川合 規史…………… 7
	富山県農林水産部長	堀口 正…………… 8
	富山県農林水産部 農村整備課長	松本 紘明…………… 9
	富山県農林水産部 農村振興課長	山森 主税……………10
2	水土里探訪ウォークin「上市」の開催……………	11
3	第16回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催……………	12
4	令和4年度「とやま水土里フォーラム」及び「とやま水土里賞表彰」の開催……………	13
5	令和4年度全国水土里ネット女性の会研修会……………	15
6	第44回全国土地改良大会（沖縄大会）……………	15
7	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請……………	16
8	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請……………	17
9	農業農村整備の集いー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー……………	17
10	各種研修会	
	①令和4年度富山県換地センター換地計画実務研修会……………	18
	②令和4年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修……………	18
	③令和4年度小水力発電所の運用管理研修会(富山県農業用水小水力利用推進協議会)……………	19
	④令和4年度土地改良施設の整備補修事例検討会……………	20
	⑤管内土木施工管理研修……………	21
	⑥富山県構造改革農地整備推進協議会 先進地研修……………	21
	⑦令和4年度換地関係異議紛争処理実務研修会（北陸ブロック）……………	22
	⑧令和4年度統合整備推進研修（会計研修）……………	22
11	式典 県営農地整備事業「土屋・鳥倉地区」完工式……………	23
12	<情報>富山県多面的機能推進協議会研修会……………	23
13	<情報>土地改良施設の診断・管理指導及び相談……………	24
14	<情報>非補助農業基盤整備資金のご案内……………	24
15	<お知らせ>今後の主な行事予定 換地土取得情報……………	25



新年のごあいさつ

参議院議員
富山県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット富山)
会長 堂 故 茂

新年明けましておめでとうございます。令和5年の年頭に当たり、会員ならびに関係の皆様にご挨拶申し上げます。

皆様には、口頃から農業農村整備の推進ならびに本会の業務運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響については次々と出現する変異株への対応など厳しい状況となっておりますが、イベント開催や移動の旅行の制限についての緩和を経て、感染拡大防止と経済活動の両立を図りながらの新年を迎えることになりました。

さて、農業農村を巡る時代の変化が著しい昨今ですが、特にウイルス感染の世界的拡大やウクライナ情勢は肥料価格や電力料金の高騰となって我が国の農家にとって困難な状況を招くとともに、世界的な物流にも大きな影響を与え、食料安全保障上のリスクが近年に例がないほどに高まっています。

現在、国においては「食料・農業・農村基本法」の見直しを総理の指示により着手されており、食料安全保障の強化が大きな検討課題のひとつとされています。

このような時にこそ、農業の成長産業化を目指し、生産性の向上や高収益作物導入のための更なる大区画化・汎用化に加えて自動走行農機技術などスマート農業に対応した生産基盤の整備を進める土地改良事業は、単に農業の体質強化を図り、農業を守るためだけでなく、国民全体の食料と自然環境を守る基盤として、地道に、着実に、実施していかなければなりません。

そのうえで万全に整備された農業基盤を活用し、多面的機能を最大限に発揮して私達の大切な郷土を守り、後世に繋げていくことが重要なこととなります。

昨年末にはこれらの施策を実行するための国予算が、令和4年度補正予算と令和5年度当初政府予算案を合わせて土地改良予算として6,134億円が確保される見通しとなりました。これも土地改良関係者が一致団結して活動した成果であり、心から御礼申し上げます。

一方、国の第5次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画には、土地改良団体の女性理事の割合を10%以上にすることが成果目標とされています。国民の意識や食の嗜好が多様化する中、今後の土地改良区運営の強化のためには、営農や地域との関わりについて女性の視点を取り入れることが大きな力になるでしょう。女性参画の推進に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

県土連では、県選出の国会議員はもちろん、われわれ土地改良の代表として再選を果たされた進藤金日子参議院議員と、宮崎雅夫参議院議員とともに力を合わせて農業農村整備事業の推進に取り組んで参りますので、皆さんの変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様とご家族にとりまして希望に満ちた年となりますように心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年に当たって

全国水土里ネット
会長 二階 俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の七割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。富山県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、ロシアのウクライナへの侵略によるエネルギー価格、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰等があり、これらは物価高として国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じていますが、物価高は本年も続くと思われまます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識し、食料安全保障の強化の必要性も痛感しております。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望の下、推進することが重要です。今後も予算を安定的に確保し、貴重な予算を適切に執行し、成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



令和5年の新年ご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

輝かしい初春を迎え、富山県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。また、皆様方におかれましては、日頃より、地域の水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、私が農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた昨年8月までの約10ヶ月間、皆様方から多くのご要望等をお受けし、それぞれの地域の課題解決に向けて、農水省の職員の方々と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円（食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円）が措置され、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算として、前年を上回る4,457億円が措置されることとなり、総額6,134億円を確保することができました。

また、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあつて、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、人口減少傾向に対応するスマート農業の取組などを含めて、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年には年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の灾情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、富山県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位と関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申し上げ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



「幸せ人口1000万」ウェルビーイング 先進地域を目指して

富山県知事 新田 八郎

明けましておめでとうございます。令和五年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。令和2年11月の知事就任以来、「県民目線」、「スピード重視」、「現場主義」を大切にした県政運営に努め、県民の皆様にお約束している八つの重点政策・八十八の具体策にも誠心誠意取り組んでまいりました。

一方で、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、多くの関係の皆様のご協力のもと、感染拡大の防止や医療提供体制の確保、ワクチン接種の促進等の対策に万全を期すとともに、社会経済活動の回復に向けた取組みを進めてきたところです。また、原油価格や物価の高騰によって影響を受ける県民生活や事業活動への迅速な支援にも努めてまいりました。引き続き、県民の皆様への命と暮らしを守ることを最優先課題として、新型コロナ対策や経済対策に取り組んでまいります。

昨年は、新しい富山のさらなる発展に向けた成長戦略を策定するとともに、関係人口の拡大やスタートアップ支援など、戦略の取組みを着実に進めてまいりました。また、行政、産業・地域社会のDXの推進や、オレゴン州との交流促進、北陸三県の知事懇談会の初開催による近隣県との連携強化に取り組むなど、本県の発展のための基盤づくりを進めることができたと考えています。

特に、成長戦略において目標に据えている、ウェルビーイングの向上については、一人ひとりが様々な人や社会との繋がりの中で、日々自分らしく、いきいきと暮らし、幸せをずっと実感できる。こうした、心も身体も社会的にも満たされた状態を表す「ウェルビーイング」を捉え、しっかりと目を向けていくため、昨年実施した県民意識調査の結果を踏まえた新たな指標も策定したところです。

今後、この指標も意識しながら、県民の皆様一人ひとりの幸せの実感に届くよう施策に取り組む、戦略のビジョンである「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現を目指してまいります。

また、今年5月にはG7教育大臣会合が富山市と金沢市で開催されます。この機会に本県のウェルビーイングの取組みを世界に発信していきたいと考えています。

本年も、県民の皆様とワンチームとなって、県民の皆様が希望に満ちた、笑顔があふれる富山県。ワクワクすることがたくさんある富山県。チャンスがあり、夢を叶えることができる富山県の実現に向けて一層努力してまいります。

新年にあたり、県民の皆様への県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



新年を迎えて

富山県議会議長 渡辺守人

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を、皆さまとともに寿ぎたいと存じます。

日頃から本県の農業・農村整備に多大なご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、我が国の社会経済環境は、少子高齢化の進行と人口減少時代の到来、グローバル化の一層の進展や環境・エネルギー問題、テロ・事件、災害による社会不安の顕在化など大きく変化しております。昨年は北朝鮮のミサイル発射や米中対立、ロシアによるウクライナ侵攻など国際情勢が緊迫化する1年でもありました。

また、新型コロナウイルス感染症の終息が未だに見通せない中、農業・農村を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷や産地間競争の激化に加え、肥料・農薬・原油価格の高騰に伴い、食糧安全保障への対応が求められるなど、大きな転換期を迎えております。

こうしたことから県では、アフターコロナを見据え、本県の実情に即した政策が構築されるよう国に働きかけるとともに、生産、流通、加工、消費等の関係団体等と連携して富富富の販売プロモーションや美味しい富山米の啓発などによる富山米のブランド力向上、県産農産物等の国内外への販路拡大、担い手への農地集積、園芸生産の拡大等による所得向上、ICT等を活用したスマート農業の推進や持続性の高い農業生産に取り組むエコファーマーの育成などに積極的に取り組むこととしております。

県議会といたしましても、必要な公共事業予算の確保や安心して農林水産業を営める環境づくりなどへの積極的な支援などにより、本県農業・農村がより元気になるよう全力を尽くしてまいる所存であります。

皆さまにおかれましても、これまで培われてこられました優れたノウハウや技術力を活かし、個性豊かな魅力ある農業・農村づくりに向けて、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた幸多い年でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



年 頭 挨拶

北陸農政局長 川 合 規 史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に、昨今は、肥料・飼料のほか燃料・電気料金も高騰する中で、適切な土地改良施設の維持管理等に努めていただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、農政の根幹である「食料・農業・農村基本法」は、制定から約20年が経過し、昨今では、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気候変動、海外市場の拡大等、我が国の農業を取り巻く情勢が制定時には想定されなかったレベルで変化しています。

このような状況を踏まえ、農林水産省では、昨年9月から、制定後初めての法改正を見据えて総合的な検証を行い、見直しに向けた検討を進めるとともに、年末には食料安全保障強化政策大綱を決定し、食料安全保障の強化のための重点対策を位置付けたところです。食料・農業・農村政策は、国民一人一人に関わる問題であるため、その検証・見直しに向けては、各方面から幅広くご意見を伺い、国民的コンセンサスの形成に努めながら、しっかりと検討を進めていくこととしています。

耕地面積の約9割が水田である北陸地域では、農業産出額の約6割を米が占めるなど、水稲を中心とした農業経営が行われており、大規模な法人経営や集落営農が展開され、経営規模の拡大が図られています。しかしながら、基幹的農業従事者の高齢化が進んでおり、若い農業者の確保が大きな課題です。このような状況を打破し、北陸の農業を発展させるには、畑地化の推進による野菜や果樹など高収益作物の導入、生産コストの削減、輸出の促進や担い手の育成・確保などに取り組む必要があり、若者にとって魅力ある農業を実現することが重要であると考えています。

そのためにも、農地の大区画化・汎用化を進め、担い手に農地を集積するとともに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の導入による水管理の合理化、農作業の効率化を進める必要があります。

また、昨年8月には、北陸管内において大雨による大規模な災害が発生しました。土地改良施設の防災機能に関しては、排水機場のほか、流域治水の観点から農業用ダムやため池の洪水調節機能の強化、川んぼダムの取組などが、農地だけでなく市街地や集落などの洪水防止にも貢献していることが認知されてきています。今後、土地改良区や農家の皆様のご理解とご協力を頂きながら、災害を未然に防止する取組を進めてまいります。

土地改良区については、農地の整備や土地改良施設の管理を通じて、生産基盤の維持、地域資源の保全等の重要な役割を担っていただいているところです。今後とも、地域の農業・農村を支えていただくべく、引き続き、組合員資格、役員、会計基準等に関する新たな制度の定着・活用による運営基盤の強化を図る取組、女性理事の登用など女性活躍・男女共同参画に向けた取組の推進をお願いいたします。国としても、それらの取組をしっかりと支援してまいりたいと思います。

12月には、農業農村整備事業関係予算として、電気料金高騰対策、農家負担軽減対策も含め、令和4年度補正予算で1,677億円、令和5年度当初予算概算決定では4,457億円が計上され、合わせて6,134億円が確保されました。

北陸農政局においても、素晴らしい北陸の農業・農村が次の世代へ確実に引き継がれるよう、地域の皆様の声をよくお聞きしながら、確保された予算を基に、土地改良区の体制強化を含め農業生産基盤の整備、農業水利施設の更新・長寿命化、農村地域の防災・減災対策を効果的に推進し、将来を見据えた農業・農村の構築に努めてまいります。

結びに、本年も引き続き農林水産行政の推進についてご理解とご協力をお願いいたしますとともに、富山県土地改良事業団体連合会の益々のご発展、また関係者の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

富山県農林水産部長 堀 口 正

明けましておめでとうございます。

輝かしい初春を迎え、富山県土地改良事業団体連合会、土地改良区をはじめ関係の皆様方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

口頃から本県の農業農村整備はもとより、農政の推進に格別のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本県の農業を取り巻く環境は、人口減少や就業者の高齢化、米需要の減退など、大きく変化しています。加えて、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や、燃料、肥料等の調達コストの上昇など様々な課題に直面しています。

県では、これらの課題に対応するため、昨年3月に策定した新たな「富山県農業・農村振興計画」に基づき、持続可能な「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現を目指し、各種施策に取り組んでいます。具体的には、デジタル技術の進化を踏まえた取り組みを進めるとともに、生産性の向上に向け、ほ場整備等の農地の大区画化や集約化、水田の汎用化を進めております。

昨年は、全国で初めてとなる国営農地再編整備事業（次世代農業推進型）「水橋地区」の区画整理工事が本格稼働しました。本地区が農業者の所得向上や農村の活性化を図る地域農業発展の全国モデルとなり、魅力あふれる地域となることを期待しているところです。

また、改正土地改良法の施行を踏まえ、いよいよ土地改良区において、令和4年度決算から貸借対照表等の作成・公表が始まりますが、将来を見据えた体制づくりが進むよう、土地改良区の体制強化を積極的に支援してまいります。

さらに、毎年必要な土地改良事業関係予算の確保に努めており、令和4年度当初予算106.7億円に加え、令和4年度11月補正予算73億円を確保し、着実に事業を進めています。今後とも、国事業を積極的に活用し、事業推進を諮ってまいります。

本年も、本県の基幹産業である農業を支え、意欲ある農業者が夢と希望を持ち安心して営農に取り組めるよう、県として、職員一同、心を一つに全力で取り組んでまいりますので、会員各位におかれても、引き続き、本県農政の推進に、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、土地改良関係団体の限りないご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



年頭ごあいさつ

富山県農林水産部
農村整備課長 松本 紘明

令和5年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

土地改良関係の皆様方には、日頃から本県の農業農村の振興に格別のご尽力とご理解、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。本年は、これまでは控えめであった各種行事が多くの参加者のもとで開催されるなど、本格的に交流が再開し活力ある社会生活となるよう期待しております。

さて、農業農村を巡る環境としましては、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料価格の高騰などにより厳しさを増しています。また、様々な理由があると思われませんが、本県農業の収益性増減率は過去10数年で見ると全国最下位にあります。このような課題がある中においても、各種農業関係予算の投資に合意が得られる競争力があり収益性の高い農業を展開するためには、目標とする経営モデルを見据えた農地整備や水路整備などの基盤整備が、どのような作物をどのように栽培するにもスタートであり不可欠であると考えております。また、農村が地域住民に住みやすく、多様な人々にとって文化的で魅力的な地域であるために、デジタル技術などの時代に応じた環境整備も進め、双方の人と物の流れが途切れることがないようにすることも重要であると考えております。

県としましては、土地改良事業に関わる多くの人の意見に耳を傾けながら、関係部局とも連携し、土地改良事業等を契機として農業農村の可能性を高め、農業者等の皆様に夢を持って意欲的に取り組んで頂けるよう、びよんと飛躍できる目標を持って土地改良事業等の実施に取り組んで参りたいと考えております。

どうか皆様方におかれては、他分野の社会インフラと異なり、農業農村の課題は関係者が考えて声にしていかないと解決に向けてスタートしない性格もごございますので、一層のご支援、ご協力等をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

終わりに、土地改良関係団体のご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

富山県農林水産部
農村振興課長 山 森 主 税

令和5年の新たな年初めにあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興に格別のご尽力とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、東欧での紛争や某国における核開発の暴走、国内での痛ましい事件や事故の多発など重苦しい出来事が多かったのですが、北京冬季オリンピックの日本選手団の活躍、ワールドカップカタール大会での日本代表チームの躍進、大谷翔平選手の米大リーグでの奇跡的な記録の達成などから、感動と勇気、やる気も与えられ、街にも明るさと活気が戻ってきたと感じております。

さて、本県では、農業・農村の振興策として、担い手の育成・確保を図るため、農業生産基盤の整備と農地集積の促進に努めております。併せて、耕作放棄地の発生防止、中山間地域の活性化など条件不利地での農業の継続や農村環境の保全も積極的に進めております。取組例の一部ですが、集落による江ざらいや水路補修等の施設管理、畦畔や長大法面の草刈り、イノシシ等の侵入防止柵の設置や捕獲など、多面的機能支払いや中山間直接支払等を活用し、地域の取り組みをしっかりと支援しております。今後は、ドローンや自走式草刈り機などスマート農機等の導入支援に向け、研究や実証試験を進めてまいります。

また、女性の活躍が農村の活性化に良好な影響を与えることから、農産物の加工・販売、新商品の開発など、女性グループ等の起業や発展への支援を積極的に行うとともに、新しい世代への事業継承にも支援の幅を広げて、6次産業化の推進を図って参ります。

さらに、新型コロナウイルスの影響で、全国的に新しいライフスタイルが急速に普及する中、都市住民を中心に農村への関心が高まっています。こうした状況を捉え、農山村が有する豊かな地域資源を活用して、農業・農村体験や農泊等の取り組みを、昨年8月に設置した「とやま農泊ネットワーク推進会議」を中心として、魅力ある交流事業として実施し、関係人口の拡大を図ります。

昨年3月には、「富山県農業・農村振興計画」もリニューアルさせていただき、「持続可能な競争力の高い農業と豊かで美しい農村の実現」を本県のめざす姿としております。

今後は、この目標に向かって皆様とともに柔軟かつ大胆に施策を進めるとともに、県民の貞の幸せ「ウェルビーイング」の向上に結びつけていきたいと考えておりますので、皆様方からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、土地改良関係団体のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

水土里探訪ウォークin「上市」の開催

- ・主催：水土里探訪ウォーク実行委員会
(富山県、富山県土地改良事業団体連合会、富山土地改良協議会ほか3協議会)
- ・とき：令和4年10月23日(日)
- ・ところ：「丸山総合公園」
- ・参加人数：約130名
- ・コース：スタート(丸山総合公園)→ 釈泉寺地内バス乗降場→
① 釈泉寺頭首工→ 釈泉寺円筒分水槽→ 笠取の滝→
② 笠取の滝→ 釈泉寺頭首工→ 釈泉寺円筒分水槽→
釈泉寺地内バス乗降場 約4.4km → ゴール(丸山総合公園)

農村を歩いて農業施設の役割や大切さの理解を深めることを目的に、今回で30回目となる水土里探訪ウォークが、上市町丸山総合公園を主会場に開催されました。

開会式では、実行委員会長の松本紘明富山県農林水産部農村整備課長が開会を宣言し、主催者を代表して酒井春夫上市川沿岸土地改良区理事長と開催地の中川行孝上市町長から挨拶がありました。

この後全員で準備運動を行い、参加者はバス4台に分乗してコース出発地のバス乗降場へ向かいました。

この頃には朝方からの雨も上がり、快晴の青

空の下、「釈泉寺頭首工」「釈泉寺円筒分水槽」から回るコースと、「笠取の滝」から回る2つのコースに分かれて元気よくスタートしました。「釈泉寺頭首工」と「釈泉寺円筒分水槽」では、事業や施設の役割などの説明を受け、施設見学を行いながらウォーキングを楽しみました。

また「笠取の滝」へは、たくさんのマイナスイオンを浴びながら、近年整備された遊歩道を歩きました。

ゴール地点では、抽選による地元特産品等のプレゼントもあり、参加者の皆さんにはウォークを堪能して帰路に就いていただきました。



第16回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催

富山県主催による第16回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会が、11月14日に富山県民会館ホールにおいて、農業及び土地改良関係者等約500人が出席して開催されました。富山県では農業・農村の振興と多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度、耕作放棄地対策や都市農山漁村交流を推進しており、これら取組の必要性や成果を県民の皆さんに広くお知らせするとともに、活動指導者の情報交換等を図るために開催されたものです。

新田八朗知事の挨拶のあと、来賓として川合規史北陸農政局長、瘡師富士夫県議会副議長、中川忠昭富山県土地改良事業団体連合会副会長の挨拶があり、引き続き今年度 農村振興・環

境保全優良活動知事賞の受賞5団体に知事から賞状が贈られました。

次に、受賞団体うち3団体から活動内容について事例発表があり、その後、富山県産特産品の抽選会が行われました。最後に「ワクワクするむらづくり」に向けて総力を挙げて取り組むとの大会宣言が行われました。

優良活動受賞団体は、次の5団体です。

- ◇キープグリーン稲品（魚津市）
- ◇芦見集落協定（立山町）
- ◇駒方地区資源保全隊（高岡市）
- ◇長坂集落協定（氷見市）
- ◇高宮環境保全会（南砺市）



知事挨拶



県土連副会長挨拶



表彰



事例発表

令和4年度「とやま水土里フォーラム」及び「とやま水土里賞表彰」の開催

富山県、富山県土地改良事業団体連合会が主催した「令和4年度とやま水土里フォーラム」が、令和4年10月13日（木）氷見市芸術文化館にて、土地改良関係者、県・市町村等 約350人参加のもと開催されました。

主催者を代表して、新山八朗知事、堂故茂県上連会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の川合規史農林水産省北陸農政局長、渡辺守人富山県議会議員、林正之氷見市長の祝辞がありました。



次に県知事表彰があり、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取組み、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が新田知事から受賞されました。



受賞されたのは、次の2団体と2個人の方々です。おめでとうございます。

■団体

- ・島尾自治会 (氷見市)
- ・農事組合法人ふかだん (高山市)

■個人

- ・野手 宗秋 氏 (射水市)
- ・八田 浩資 氏 (砺波市)

つづいて、とやま水土里賞の団体受賞者である、島尾自治会（発表者：中田正幸 自治会長）と農事組合法人ふかだん（発表者：深井 清作 理事）から事例発表が行われました。次に特別講演に入り、小堀 峯佳氏（（一社）日本野菜テロワール協会代表理事）から本フォーラムのテーマとなる「ヒットの理由！これからの時代に売れる野菜と産地づくり」と題し講演されま

した。初代野菜バイヤーとして約20年間にわたり全国の農家を巡り、野菜のネーミングからレシピ開発、売り方指導など広範囲における取り組んだ内容などについて講演をされました。現在は「愛の野菜伝道師」と精力的に活動されており、さまざまなメディアに出演しておられます。



一方、館内2階エントランスでは「とやま水土里賞受賞」、「農業農村整備優良コンクール受賞地区」の活動内容や「氷見市の土地改良施設」および「各農林振興センター」における取

り組みを紹介するパネル展示をおこないました。また、「農業農村整備における各種広報動画」をTVモニターで流し全日程を終了しました。



令和4年度 全国水土里ネット女性の会研修会

令和4年10月21日（金）東京都千代田区平河町砂防会館別館会議室において、「令和4年度全国水土里ネット女性の会研修会」が開催され、都道府県土地改良事業団体連合会及び土地改良区の役職員、県職員など100名が参加しました。

主な研修内容

1. 「農業農村整備について」の講演
2. 「男女共同参画推進に向けた、課題の解決」についてのグループワーク
3. 都道府県水土里ネット会長会議顧問からの情報提供



この研修会は、全国水土里ネット主催の研修会で、この会に先立ち令和3年2月に開催された全国水土里ネット女性の会グループ懇談の意見を元にし、解決案を考えるために開催されました。



第44回全国土地改良大会（沖縄大会）

令和4年11月22日（火）沖縄アリーナにおいて、第44回全国土地改良大会沖縄大会が『～水土里の拓くみるく世を鳴らしとうゆまし守禮の邦から～』をテーマに、全国から2,500名の土地改良・農業農村整備事業関係者が参加し開催されました。

式典は、開催県である沖縄県土地改良事業団体連合会の古謝景春会長の挨拶で始まり、全国水土里ネットの二階俊博会長から主催者挨拶がありました。続いて、玉城デニー沖縄県知事や

桑江朝千夫沖縄市長から歓迎のこたば、さらに、勝俣孝明農林水産副大臣、西銘恒三郎衆議院議員及び、東京都よりWEBで都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問である進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員から祝辞が述べられました。その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名をはじめ、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が表彰されました。

〔本県の受賞者〕

・全土連会長表彰

魚津市土地改良区
富山県土地改良事業団体連合会

理事長
代表監事

道小島 茂生 氏



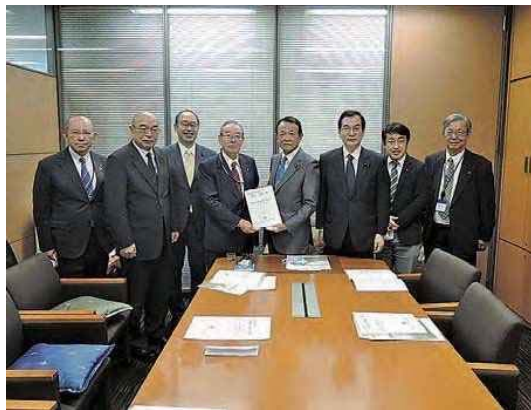
北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請

令和5年度の概算決定に向けて、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会（幹事県 新潟県）では北陸四県の各土連の会長、副会長、事務責任者が、令和4年10月19日～20日に東京都内に

て、自由民主党本部と各県選出国議員、財務省にて財務大臣ほか幹部職員、農林水産省では農林水産大臣ほか幹部職員に対して農業農村整備事業予算の確保を要請しました。

要請先

自由民主党、財務省、農林水産省、県選出国議員



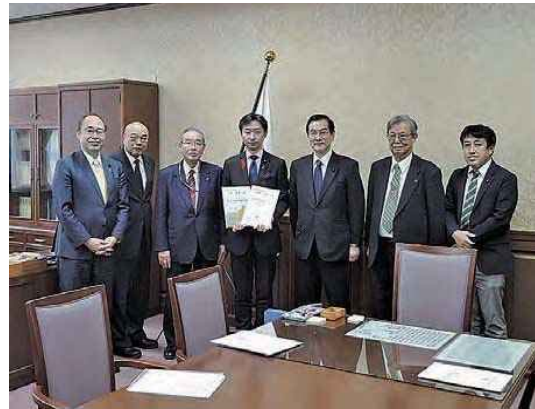
自由民主党 麻生太郎 副総裁



自由民主党 二階俊博 国土強靱化推進本部長



野村哲郎 農林水産大臣



財務省 宮本周司 大臣政務官



進藤金日子 参議院議員



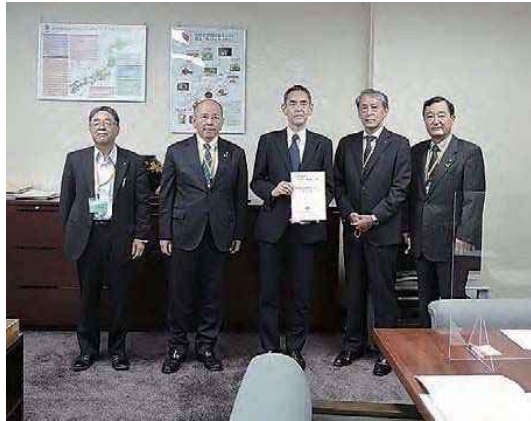
宮崎雅夫 参議院議員

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請

令和4年10月12日（水）、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は各連合会から専務理事並びに事務局が出席し、川合規史北陸農政局長に農業農村整備事業推進に関する要請活動を行

いました。

その後、北陸農政局の農村振興部幹部との意見交換を行いました。



川合規史 北陸農政局長



北陸農政局農村振興部幹部との意見交換

農業農村整備の集い 一農を守り、地方を創る予算の確保に向けて一

令和4年10月20日（木）午後1時30分から、砂防会館「シェーンバッハ・サボー」にて農業農村整備の集いが開催されました。国会議員を含め約1,100名の土地改良関係者が参集しました。開催にあたり、二階俊博全土連会長から主催

者挨拶があり、その後多数の来賓の方々より祝辞をいただきました。

引き続き、令和5年度当初予算をはじめとした9項目の要請書が提案され、全会一致で採択されました。



全国土地改良事業団体連合会 二階会長

各種研修会

①令和4年度富山県換地センター換地計画実務研修会

富山県換地センターでは、換地技術者育成を目的として研修会を開催しています。

今回は、令和4年7月15日（金）富山県総合情報センターにて「令和4年度富山県換地センター換地計画実務研修会」に、換地士、土地改良区、県、県上連の担当者、計55名が出席して

開催されました。

研修会は、まず浦田一郎換地士部会長、永森雅之富山県土地改良事業団体連合会専務理事の開会挨拶があった後、下記の内容にて研修を行いました。

令和4年度富山県換地センター換地計画実務研修会

講義内容	講師
換地と測量（境界・確測）について	富山県土地改良事業団体連合会 計画部 換地測量課 課長補佐 筒井 政和
一時利用地の指定について(換地くんVer4)	富山県土地改良事業団体連合会 計画部 換地測量課 係長 松井 俊浩



講師



講師



研修状況

②令和4年度 北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修

令和4年8月24日から8月25日にかけて、金沢市の石川県土地改良会館において、令和4年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修（当番県：石川県土地改良事業団体連合会）がWebにて開催され、北陸四県の県、市町村、土地改良区及び県土連担当者約50名が

参加しました。

研修は、石川県土地改良事業団体連合会 古西広参事兼企画調整監の開催挨拶のあと、北陸農政局、金沢地方法務局、国土地理院、石川県土地改良事業団体連合会より講師を招いて、下記の内容で行われました。

日 時	研 修 内 容	講 師
8月24日	土地改良法の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 農地集団化係 石井 哲平
	土地改良換地制度の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 山中 卓也
	相続登記について	金沢地方法務局 地図整備・筆界特定室 登記専門職 竹田 亘孝
	不動産登記法及び土地改良登記令	
8月25日	測量法に基づく公共測量の諸手続き	国土地理院 北陸地方測量部 測量課 測量係長 梅井 迪子
	換地計画書作成実務(換地の流れ)	石川県土地改良事業団体連合会 事業部 換地課 係長 倉田 景
	換地計画書作成実務	



相続登記について



換地計画書作成実務

③令和4年度 小水力発電所の運用管理研修会(富山県農業用水小水力利用推進協議会)

◆富山県農業用水小水力利用推進協議会(以下:協議会)で3F研修会室において、「小水力発電所の運用管理研修会」を協議会員36名が参加し開催いたしました。

協議会の令和4年度事業は、建設推進から維持管理への移行、継続的な発電所の機能発揮、維持保全の推進を位置づけており、研修会では、これらの事業方針に沿って、県企業局における水力発電所の保安管理、再生可能エネルギーに関する制度、除塵対応についての事例紹介(庄西川水土地改良区、朝日町土地改良区)の講演を行いました。

◆富山県農業用水小水力利用推進協議会(以下:協議会)では、農業用水を利用した水力発電の取り組み(サステナブルな農業・農村を目指して)と題した啓発普及動画を制作し、インターネット動画配信サイトYouTubeで公開しています。

動画の制作では、県内各地の5発電所において施設内部の撮影や土地改良区役職員へのインタビュー、UAV空撮などの収録を行い、施設状況や運用管理の取り組みを8分33秒の動画で紹介しています。下記URL、QRコードで公開されていますので、是非、ご覧ください。

YouTubeのURL

<https://youtu.be/GycZCW-JAFU>



名称	内 容	出席者・参加者	備考
【研修会】 R4.8.24	○富山県企業局における水力発電所の保安管理 講師:富山県企業局電気課	・関係土地改良区 ・北陸電力送配電株式会社 ・各振興センター 約36名	
場所	○再生エネルギーに関する制度について 講師:北陸電力送配電株式会社 富山配電部 工事計画課		
水上里ネット富山	○除塵機対応についての事例紹介 庄西川水土地改良区:朝日町土地改良区		
3F	○小水力発電啓発動画の紹介		



農業用水を利用した水力発電の取り組み(サステナブルな農業・農村を目指して)

④令和4年度土地改良施設の整備補修事例検討会

全上連が主催する令和4年度土地改良施設の整備補修事例検討会(北陸ブロック)が令和4年10月25日に富山県土地改良会館で開催され、農村振興局・北陸農政局・全上連・北陸四県の県・県上連の担当者が出席し、土地改良施設の診断・管理指導についての事例提案及び意見交換が行われました。

本年度の事例提案のテーマは、「省エネルギー効果を発揮させる工法」、「先進的技術やコスト低減に繋がる取組による整備補修」「維持管理費

の軽減となった整備補修事例」、「景観・環境に配慮した整備補修事例」、「過去に先進的技術等で整備補修した施設のモニタリングの報告事例」となっており、北陸ブロックでは新潟県上連と石川県上連から下記の事例提案がありました。

- ・新潟県上連
『町道下の送水管漏水箇所の整備補修』
- ・石川県上連
『水管理システム計装機器他更新工事』



挨拶



検討会

⑤管内土木施工管理研修

令和4年9月15日(木)、11月16日(水)に砺波、新川、富山、高岡管内において富山県土地改良事業団体連合会の若手職員を対象とした土木施工管理研修が行われました。各管内の農林振興センター農村整備課の職員の方に講師をしていただき、座学研修では工事の概要について、現場研

修では土木施工管理について受講しました。

砺波管内ではほ場整備工事(段階確認)、新川管内では土地改良総合整備事業(水路工)、富山管内では中山間地域の農地防災事業(安全管理)、高岡管内ではコンクリートの打設及び品質管理(排水路)について学びました。



祖谷地区(砺波管内)



早月加積中部地区(新川管内)



野積地区(富山管内)

⑥富山県構造改革農地整備推進協議会 先進地研修

富山県構造改革農地整備推進協議会(会長; 齊藤高志 大門町土地改良区理事長)では、令和4年10月25日(火)~26日(水)に県西部土地改良区関係者12人が国営農地再編整備事業水橋地区及び県営農地整備事業舟川新地区、若栗南部地区、富山県農林水産公社スマート農業普及センターにて先進地研修を行いました。また、11月1日(火)~2日(水)に県東部土地改良

区関係者は県営農地整備事業広土地区及び大滝地区、開ほつ地区、天神地区、富山県農林水産公社スマート農業普及センターにて先進地研修を行いました。

県内の先進的な施設整備や営農へ取り組み、高収益作物の栽培、スマート農業への状況を研修しました。



水橋地区 現地視察(にんじん試験田)



舟川新地区 概要説明(公民館)



大滝地区 現地概要説明



富山県農林水産公社スマート農業普及センター

⑦令和4年度換地関係異議紛争処理実務研修会(北陸ブロック)

換地関係異議紛争処理実務研修会（主催：全土連、開催県：福井県土連）が令和4年11月14日～15日 福井市内において開催され、農村振興局・北陸農政局・全土連・北陸4県の県・県土連の換地担当者29名が出席しました。

挨拶の後、農林水産省農村振興局土地改良企画課の一條課長補佐から「換地を取り巻く状況について」と題して中央情勢についての報告が行われました。引き続き新潟県・富山県・石川県の換地関係異議紛争処理事例に基づくケース・スタディーの検討会が行われました。テーマは、

「事業反対者である所有者から耕作者に従前地を売買しようとしたが、調整できず地区除外とした事例」、「地区界と工事施工区域界の相違の指摘を受け是正した事例」、「農地整備事業における地区内権利者からの一方的な工事妨害に対し、換地上の取扱方針の協議・調整を行っている事例」について、活発な意見交換及び総括が行われました。最後に、中央換地センターから「土地改良換地異議紛争の未然防止に係る啓発普及資料等について」等の説明が行われ全日程を終えました。



⑧令和4年度統合整備推進研修(会計研修)

令和4年11月9日（水）富山県総合体育センターにおいて、「令和4年度統合整備推進研修（会計研修）」が開催され、県内土地改良区の役職員、県職員など41名が参加しました。

この研修会は、全国水上市里ネット主催で全都

道府県において開催される研修会で、土地改良区における貸借対照表の作成が義務化されることをうけて、複式簿記への円滑な移行を図るため、導入に関する実務的知識を習得することを目的として開催されています。



主な研修内容

1. 財務諸表等の作成手続き（基礎編）
2. 財務諸表等の作成手続き（実践編）
3. 財務諸表等を活用した財務分析の方法

式典 県営農地整備事業「土屋・鳥倉地区」完工式

令和4年10月16日（日）、県営農地整備事業「土屋・鳥倉地区」の完工式が高岡市福岡町土屋木楽館で行われました。はじめに、山本栄治事業推進委員会委員長から挨拶がありました。その後、堂故茂本会会長、松本紘明富山県農村整備課長、角川悠紀高岡市長（代理：横山太一

高岡市農地林務課長）、川島国沢会議議員、水口清志高岡市議会議員、青木紘福岡町土地改良区理事長からそれぞれ祝辞がありました。

土屋・鳥倉地区は平成26年度から令和3年度にかけて14.9kmの農業用排水路を改修されたほか2.9kmの農道拡幅も行われました。



情 報

◆富山県多面的機能推進協議会◆

富山県多面的機能推進協議会では多面的機能支払交付金の活動の活性化・継続性の確保を目的としております。令和4年10月20日に富山産業展示館（テクノホール）において、「多面的機能支払推進研修会」を開催したところ、活動組織、関係機関などから約650人が参加しました。

研修会では『多面的機能団体と農村RMOについて』（富山大学 名誉教授 酒井 富夫 氏）、『種もみの郷』～自分たちのむらは自分たちで守り、未来へつなげる～』（かんきょう下村保全会）、『富山県の多面的機能支払の取組状況について』（富山県農村振興課 主任 柴田 祐紀 氏）の講演を受けました。また、同時に活動に必要な資材や機械、事務支援ツールなどの企業・団体ブース展示を行い、県内の活動組織における広報事例や田んぼガムの紹介等のパネル展示が行われました。



講習



展示

◆土地改良施設の診断・管理指導及び相談◆

本会では管理専門指導員による土地改良施設の点検、整備、操作等土地改良施設の管理に関する専門的な診断管理指導を行っています。

① 土地改良施設の診断業務

本年度は、定期的な施設診断として頭首工・揚水機・ため池等、48箇所を予定しております。また、施設管理者からの要請診断も受け付けています。施設診断の際は、現地立ち会い等、ご協力お願いいたします。

【維持管理適正化事業新規加入について】

上記①の要請診断を行った施設の令和5年度加入要望地区ヒヤリングは、9月に各農林振興センターにおいて実施する予定です。

問い合わせ先 管理指導センター室 TEL:076-424-3380 FAX:076-424-3332
e-mail:kanri@tomidoren.jp

② 土地改良事業相談業務

本会では相談指導員を配置し、下記事項に関する助言及び指導を随時行っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

- ・土地改良事業計画の作成
- ・工事の実施に関する指導
- ・事業主体の組織運営上の指導
- ・土地改良施設の管理に関する指導
- ・農業水利に関する指導
- ・土地改良法令に関する指導
- ・換地処分その他農用地集団化に関する指導
- ・その他

◆非補助農業基盤整備資金のご案内◆

1. 非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客上などの事業に取り組み、農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2. 対象となる事業種類・内容

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客上、農道、索道(軌道等運搬施設を含む)、畦畔整備、農地造成、防災・農地保全、農業集落排水(農村下水道)、発電施設。

維持管理計画書作成に係る調査費、土地改良区事務所の新增築、事務機器や複式簿記導入に係るシステム、車両など。

3. 融資条件

●貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合(事業主体となる場合に限る)、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人

●償還期間 25年以内(うち据置期間10年以内)

【農業農村整備資金利率】

区 分		R 4. 12. 19現在
補 助 事 業	県 営	0.85 %
	団 体 営	0.70 %
非 補 助 事 業	一 般	0.70 %

〈お問い合わせ先〉

- ・富山県農林水産部農村整備課土地改良企画係 076-444-3375
- ・北陸農政局農村振興部土地改良管理課 076-263-2161 (代表)
- ・富山県土地改良事業団体連合会事業部管理指導課 076-424-3380

〈融資担当機関〉

- ・日本政策金融公庫富山支店 076-441-8411
- ・農林中央金庫富山支店 076-445-2508 (公庫受託課)

お 知 ら せ

●今後の主な行事予定(令和5年1月～6月)●

月日	会 議 と 行 事	場 所	参加対象	備考
2月9日	富山県担い手育成農地整備研修会 主催 富山県構造改革農地整備推進協議会	砺波市文化会館 大ホール	関係者	
2月中旬	ため池監視・管理体制強化技術研修会	富山県土地改良会館	県・市・町、 ため池管理者	
3月17日	本会 第65回通常総会	ホテルグランテラス富山	会員・来賓等	主催

(注) 本案はあくまでも予定であり、別途詳細案内等を確認のうえ参加ください。

令和4年度資格試験において下記の職員が合格しました。これからも皆さまのご期待に応えていくよう努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○土地改良換地士 市田 浩司(計画部 換地測量課 係長)

水土里探訪ウォーク in 「上市」



農業農村整備事業等の調査・測量設計等業務に関する
ご相談は、下記までお問い合わせください。

富山県土地改良事業団体連合会

〒939-8214 富山市黒崎17番地
TEL076-424-3300 FAX076-424-3332
<http://www.tym-midori.net/tomidoren>

